



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 神戸電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9046 URL <http://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,623	△0.2	1,513	2.8	1,226	△2.7	1,032	10.7
2019年3月期第2四半期	11,646	0.7	1,472	△1.5	1,260	10.7	932	△8.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,012百万円 (3.5%) 2019年3月期第2四半期 978百万円 (△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	128.41	ー
2019年3月期第2四半期	115.95	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	92,129	19,694	21.4
2019年3月期	93,732	18,684	19.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,694百万円 2019年3月期 18,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2020年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2020年3月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,220	1.0	2,300	△1.4	1,640	△12.7	1,300	7.1	161.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	8,061,566株	2019年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	23,645株	2019年3月期	22,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	8,038,289株	2019年3月期2Q	8,039,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、消費税増税の影響や世界経済の不確実性など、先行きに不透明感が続く状況で推移しました。

この間当社グループにおいては、各部門において増収に注力するとともにコストの削減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は11,623百万円となり前年同期に比べ23百万円(0.2%)減少、営業利益は1,513百万円となり前年同期に比べ41百万円(2.8%)増加、経常利益は1,226百万円となり前年同期に比べ34百万円(2.7%)減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,032百万円となり前年同期に比べ100百万円(10.7%)増加しました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、省エネ性能に優れた6500系車両1編成の新造に着手し、2020年3月の運用開始を目指しております。加えて、長田駅においてエレベータ、スロープ及び多機能トイレを新設するバリアフリー化工事を進めております。

増収策としては、有馬温泉への旅客誘致を図るため、「有馬・六甲周遊1dayパス」や「有馬温泉 太閤の湯クーポン」等の企画乗車券を発売したほか、「神鉄おもてなしきっぷ」のご利用可能店舗の拡大を図るなど、当社沿線のお出かけに便利な商品の企画・販売に努めました。また、沿線自治体や各種団体と連携した企画ハイキングや「神鉄沿線で体験イベント!」など、ご家族で気軽にご参加いただけるイベントの開催に注力し、神鉄ファンの獲得に努めました。

沿線人口の減少対策としては、駅を中心としたまちづくりが推進されることにより、人口定着や鉄道の利用促進が図られるよう沿線自治体と連携した取組を進めております。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し、増収に努めました。

タクシー業においては、乗務員の採用に注力し、稼働率の向上に努めました。

これらの結果、平成30年7月豪雨災害による列車運休等の反動増もあり、当第2四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は6,729百万円となり、前年同期に比べ163百万円(2.5%)増加し、営業利益は964百万円となり、前年同期に比べ106百万円(12.4%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、賃貸物件へのテナントの誘致を進め収益の拡大を図るとともに、土地建物販売業においては、兵庫県芦屋市の戸建用地等を販売しました。

なお、管理運営業務として、神戸市から「神戸市ものづくり工場(神戸市兵庫区)」他2施設を、神戸市道路公社から駐車場2施設を受託し、円滑な運営に努めております。

しかしながら、前年同期に販売土地を素地売却した影響等により、当第2四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,038百万円となり、前年同期に比べ242百万円(18.9%)減少し、営業利益は489百万円となり、前年同期に比べ36百万円(6.9%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、店頭朝市や青果部門を中心とした生鮮部門の強化等により集客を図るとともに、ゴールデンウィーク及びお盆期間の特別企画やポイント優遇デー等の販売促進キャンペーンを各店舗で積極的に展開しました。

コンビニ業においては、各店舗で増収に努めました。

飲食業においては、2019年4月からケンタッキーフライドチキン武庫之荘駅前店(兵庫県尼崎市)・阪急茨木店(大阪府茨木市)の2店舗の営業を開始しました。

しかしながら、競合の激化などにより、当第2四半期連結累計期間の流通業の営業収益は3,013百万円となり、前年同期に比べ20百万円(0.7%)減少し、営業利益は0百万円となり、前年同期に比べ10百万円減少しました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。

建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のその他の営業収益は1,408百万円となり、前年同期に比べ36百万円(2.6%)増加し、営業利益は63百万円となり、前年同期に比べ8百万円(11.3%)減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,603百万円減少の92,129百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,613百万円減少の72,435百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1,009百万円増加の19,694百万円となり、自己資本比率は21.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,110	1,047
受取手形及び売掛金	1,068	1,146
短期貸付金	49	51
販売土地及び建物	442	388
商品	118	125
貯蔵品	408	463
その他	1,977	803
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,173	4,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,818	43,117
機械装置及び運搬具(純額)	5,735	5,597
土地	34,767	34,771
建設仮勘定	612	849
その他(純額)	427	407
有形固定資産合計	85,360	84,743
無形固定資産		
その他	659	613
無形固定資産合計	659	613
投資その他の資産		
投資有価証券	1,055	1,124
長期貸付金	557	520
繰延税金資産	142	122
退職給付に係る資産	448	623
その他	352	374
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,538	2,747
固定資産合計	88,559	88,103
資産合計	93,732	92,129
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,949	1,218
短期借入金	20,693	21,241
未払法人税等	100	199
前受金	74	440
賞与引当金	50	59
ポイント引当金	11	11
その他	2,576	2,960
流動負債合計	27,457	26,132
固定負債		
長期借入金	41,519	40,277
繰延税金負債	6	13
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	115	111
長期末払金	580	491
長期預り保証金	922	932
その他	975	1,004
固定負債合計	47,590	46,303
負債合計	75,048	72,435

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	5,308	6,341
自己株式	△73	△76
株主資本合計	16,945	17,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156	127
繰延ヘッジ損益	0	2
土地再評価差額金	1,500	1,500
退職給付に係る調整累計額	82	88
その他の包括利益累計額合計	1,738	1,718
純資産合計	18,684	19,694
負債純資産合計	93,732	92,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	11,646	11,623
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,926	8,805
販売費及び一般管理費	1,247	1,304
営業費合計	10,173	10,109
営業利益	1,472	1,513
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	15
物品売却益	9	13
雑収入	124	28
営業外収益合計	154	57
営業外費用		
支払利息	349	330
雑支出	17	13
営業外費用合計	366	344
経常利益	1,260	1,226
特別利益		
工事負担金等受入額	64	2
特別利益合計	64	2
特別損失		
工事負担金等圧縮額	64	2
災害による損失	250	—
その他	2	6
特別損失合計	318	9
税金等調整前四半期純利益	1,006	1,219
法人税、住民税及び事業税	21	155
法人税等調整額	53	31
法人税等合計	74	187
四半期純利益	932	1,032
親会社株主に帰属する四半期純利益	932	1,032

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	932	1,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△28
繰延ヘッジ損益	7	2
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	45	△20
四半期包括利益	978	1,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	978	1,012
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,553	1,141	3,027	10,723	923	11,646	—	11,646
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	12	138	5	156	449	605	(605)	—
計	6,566	1,280	3,033	10,880	1,372	12,252	(605)	11,646
セグメント利益	858	525	10	1,395	71	1,466	6	1,472

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,716	917	3,009	10,643	980	11,623	—	11,623
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	12	120	4	138	428	566	(566)	—
計	6,729	1,038	3,013	10,781	1,408	12,189	(566)	11,623
セグメント利益	964	489	0	1,454	63	1,517	(4)	1,513

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定期外	10,545	10,156	3.8
	定期	19,879	19,644	1.2
	計	30,425	29,800	2.1
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定期外	2,502	2,383	5.0
	定期	2,350	2,348	0.1
	計	4,853	4,732	2.5

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。